

競 技 注 意 事 項

1. 競技規則について

本大会に適用する規則は、2016年度日本陸上競技連盟競技規則および大会規定である。

2. 練習について

(1) 練習の時間帯は下記の通り。

	本 競 技 場	補 助 競 技 場
6月15日(水)	13:00～17:00	13:00～17:00
16日(木)	7:30～8:50	7:30～17:00
17日(金)	7:30～8:50	7:30～17:00
18日(土)	7:30～8:50	7:30～17:00
19日(日)	7:30～8:50	7:30～15:00

- (2) 本競技場での練習は、トラック・跳躍種目とする。補助競技場を含め競技場備え付けの用具を使用すること。ゴムチューブ等を使用してのスピード練習は禁止する。
- (3) 本競技場、補助競技場の芝生内ではスパイクシューズの使用を禁止する。
また、補助競技場でのハードル練習は各種目ごとに時間帯を設定する。
- (4) 投てき練習（メディシンボール等を含む）は、競技場の内外を問わず一切禁止する。
- (5) 練習会場での練習は事前に注意事項を確認し遵守するとともに、必ず競技役員の指示に従うこと。

3. 招集について

- (1) 招集所は、メインスタンド下の室内練習場に設ける。
- (2) 種目別の招集開始時刻・完了時刻はプログラムの競技日程欄に記載されている。
- (3) 携帯電話、スマートフォン、タブレット等の機器は招集所内に持ち込まないこと。
- (4) 手順
- ① 招集開始時刻に競技者係の点呼を受ける。同時にトラック種目出場者は腰ナンバーカードを受け取り両腰のやや後方につけること。その際、ナンバーカードとスパイクピン等の確認を受ける。
 - ② 点呼の代理人は認めない。但し、2種目以上にわたって同時刻に出場する競技者は、第1種目の招集の前に本人が競技者係へ多種目同時出場届（プログラム巻末に綴込み）を提出し、併せて招集を受けることができない種目の点呼（ナンバーカード・腰ナンバーカード・スパイクピンなどの検査）を受けておくこと。その場合に限り、招集時刻の点呼に代理人を認める。
- (5) 招集完了時刻に遅れた競技者は出場する意志がないものとみなし処理する。
- (6) リレー種目
- ① オーダー用紙は、各ラウンド（予選・準決勝・決勝）ともに、1組目の招集完了時刻の2時間前から1時間前までに競技者係（招集所）に提出すること。
オーダー用紙はプログラム巻末の所定の用紙を使用すること。
オーダー用紙の提出がない場合は、棄権したものとして処理する。
 - ② 出場メンバー全員が点呼を受けること。ただし、他種目に出場している場合は、上記（4）②に準ずる。
 - ③ 4×400mの第2・第3走者は、次走者の待機順を明確にするため、右側に腰ナンバーカードをつける。
 - ④ ユニフォームは、同型・同色を原則とする。

(7) 男子5000m・3000mSC・5000m競歩と、女子3000m・5000m競歩は別ナンバーカードを使用する。

(8) 混成競技

① 1日目、2日目ともに第1種目は招集所にて指定された時刻に行う。それ以降の種目では、室内練習場の混成競技控え室で点呼を受け、役員の誘導により競技場所に移動する。

(トラック種目は、競技開始の20分前、フィールド種目は40分前までに集合すること。)

② 他種目と重なっている場合は、あらかじめ混成競技係にその旨を告げ、競技者係に多種目同時出場届けを提出しておけば、直接現地への移動を認める。また、このとき競技者はフィールド種目においては、いずれの競技種目を優先させるかを定めることができるが、トラック種目と重なる場合はトラック種目が優先となる。

(9) 招集所から競技場所への移動は、競技者係の誘導に従うこと。

(10) 止むなく棄権する場合は、招集開始時刻までに、プログラム巻末の棄権届に必要事項を記入し、競技者係に提出すること。

4. 競技進行について

(1) 番組編成およびラウンドの通過について

① トラック競技の予選のレーン順、および跳躍競技の予選、投てき競技の決勝の試技順はすべてプログラム記載の順番とする。なお、準決勝以降の組み合わせはすべて番組編成員が行い、招集所およびCゲートに掲示する。

② トラック競技における次のラウンドへの進出者について

(ア) (+ α)を決めるとき、その最下位で同タイム(1/100単位)が出た場合、写真を拡大して1/1000秒単位で優劣の判定をする。

・レーンに余裕がある場合・・・同タイム(1/1000秒単位)の選手の進出を認める。

・レーンに余裕がない場合・・・本人または代理人により抽選する。

(イ) 同着により着取りによる進出者が増えた場合は、+ α での進出者数を減らす。

(ウ) オープン・レーンを使用する種目

同タイム(1/1000秒単位)の競技者は全員次のラウンドに進める。

(2) 競技について

① 当該種目出場者以外は競技エリア内に立ち入ることができない。

② スパイクのピンは11本以内とし、9mm以下のものを使用すること。但し、走高跳・やり投については12mm以下とする。

③ ナンバーカードは配布された大きさのままでユニホームの胸部と背部につけること。但し、跳躍競技に出場する選手は、胸部または背部だけでもよい。

④ 男子5000m・5000m競歩、女子3000m・5000m競歩はグループスタートで行なう。

⑤ トラック競技の短距離種目では、競技者の安全確保のためフィニッシュ後も自分のレーン(曲走路)を走ること。

⑥ 4×100mのマーカ―は、主催者が準備し競技前に各コーナーで出発係が配布する。競技終了後、必ず自チームのマークを前走者が取り除くこと。

⑦ 混成競技の走高跳は、競技者に最初の高さの希望調査を行い、その結果をもとに2組で実施する。

⑧ 混成競技の最終種目では、それまでの成績による順位を表す別ナンバーカードを胸につけて競技を行う。背は競技者個人のナンバーカードで、腰はレーンナンバーとする。

⑨ フィールド競技において、コーチの競技者に対する助言が競技の進行を妨げないようにするため、近接の観客席に「コーチ席」を設けるので、競技者への助言はすべてコーチ席から行うこと。

⑩ 競技エリア内に携帯電話、スマートフォン、タブレット等の機器を持ち込むことはできない。また、競技エリア内で助力を与えたり受けたりしている競技者は失格の対象となる。

フィールド競技に出場している競技者が、それ以前の試技映像をコーチ席以外の場所で見たり、録画再生機器等をスタンドからの手渡しや吊り下げにより競技区域内に持ち込むことは認めない。

⑪ 競技場内での練習は競技役員の指示に従うこと。

(3) 跳躍種目の予選通過標準記録は下記のとおりとする。

	走高跳	棒高跳	走幅跳	三段跳
男子	1 m 9 7	4 m 4 0	7 m 0 0	1 4 m 5 0
女子	1 m 6 4	—	5 m 6 0	—

(4) 走高跳、棒高跳のバーのあげ方は下記のとおりとする。

男子 走高跳	予選	(練) 1 m 8 8 (競) 1 m 9 1－9 4－9 7
	決勝	(練) 1 m 9 1 (競) 1 m 9 4－9 7－2 m 0 0 以後3cmずつ上げる
女子 走高跳	予選	(練) 1 m 5 5 (競) 1 m 5 8－6 1－6 4
	決勝	(練) 1 m 5 8 (競) 1 m 6 1－6 4－6 7 以後3cmずつ上げる
男子 棒高跳	予選	(練) 4 m 1 0 (競) 4 m 2 0－3 0－4 0
	決勝	4 m 2 0 (練) (競) 4 m 3 0－4 0－5 0 以後10cmずつ上げる 4 m 6 0
男子 八種競技 走高跳	(練)	1 m 2 7 (競) 1 m 3 0－3 3－3 6 以後3cmずつ上げる
	(練)	1 m 5 7 (競) 1 m 6 0－6 3－6 6 以後3cmずつ上げる
女子 七種競技 走高跳	(練)	1 m 2 0 (競) 1 m 2 3－2 6－2 9 以後3cmずつ上げる
	(練)	1 m 3 2 (競) 1 m 3 5－3 8－4 1 以後3cmずつ上げる

同記録による1位決定と全国大会出場権決定のバーの上げ下げは、走高跳 2cm、棒高跳 5cm とする。

5. 競技用具について

(1) 棒高跳用ポール・やり以外の競技用具は、競技場備え付けのものを使用する。

(2) やりは競技場備え付けのものを準備するが、検査を受けて自己の物を使用してもよい。その場合、出場競技者全員で共有できるものとする。

検査時刻は、競技開始時刻の80分前～60分前までとし、フィニッシュ側の用器具庫で行なう。

6. 抗議について

抗議は日本陸上競技連盟競技規則により、各府県監督（当該校顧問同伴）から、所定の手続きをとるものとする。

7. 表彰について

(1) 各種目6位までの入賞者を表彰する。成績発表後直ちに受賞者席（メインスタンド下中央ロビー）に集合すること。他種目に出場中の場合は、必ず表彰係に連絡のうえ代理人を出すこと。

(2) 各種目表彰では、優勝者の所属校の部旗を掲揚するので、成績発表後直ちにメインスタンド下中央ロビーの表彰係まで持参し指示を受けること。なお、7位・8位の者にも賞状があるので受け取ること。

(3) 表彰式では以下の表彰を行うので当該校（者）は必ず参加すること。

- ① 男女別総合と男女別トラック・フィールドの部で3位までに入賞した学校
- ② 男女の優秀競技者
- ③ 男女各総合優勝校の監督

8. その他

- (1) 競技場の開門は、4日間とも7時30分とする。
- (2) 記録は、B・Dゲートの記録掲示板に掲示する。
- (3) テント、シート、横断幕、のぼりについて
 - ① メインスタンド下コンコース（2階通路）は、シートのみとし、テントの設置は禁止する。
 - ② バックスタンド上段通路、サイドスタンド中段通路より上の座席、競技場内外の場所取り抽選は大会前日（6月15日15:00）に行なう。抽選場所は室内練習場とし、抽選により指定された場所は、1校1か所のみとし、最終日まで同じ場所を使用できる。指定されている範囲を越えての場所取りは禁止する。
 - ③ 場所取りの抽選に参加しない学校や抽選にはずれた学校でテント、シートを使用したい場合は、バックスタンドの各府県に割り当てられた部分のみ許可する。
 - ④ 競技場外に設営しているテント、シート等は毎日撤去して持ち帰ること。
 - ⑤ 横断幕を設置する入場順は大会前日（6月15日16:00）に抽選で決定する。抽選場所は室内練習場とし設置場所、方法については役員の指示に従うこと。
 - ⑥ のぼりについては、メインスタンド以外の中段通路の手すりに設置してもよい。ただし、監視カメラに支障がある場合は移動・撤去してもらうことがある。
- (4) 応援はスタンドで行い、競技場トラック周辺に降りて行わないこと。また、集団での連呼応援は自粛すること。（特にトラック競技のスタート直前は注意すること）
- (5) 更衣室の使用は更衣のみとし、使用後はすみやかに退室すること。また、一切の私物を置いてはならない。（盗難、置き引き防止のため）
- (6) 競技中に起こったケガについては、本部の医務室で応急処置のみ行う。
- (7) スタンド等使用した場所は、各校で責任を持って清掃し、ゴミは指定の集積場所（バケット）に分別して捨てること。（ビン・缶・ペットボトルや可燃物など、全てのゴミはビニール袋から出して指定のバケットへ分別して入れること）
- (8) フィニッシュ後のスタート地点への移動等は、必ずスタンド下の通路を使用すること。また、通行禁止や使用禁止の表示のある場合は、厳守すること。
- (9) 盗撮行為等を防止するために「撮影禁止区域」をスタンドに定める。
- (10) 貴重品、荷物類は各自で管理し、盗難等に充分注意すること。